

東洋英和女学院大学大学院

2017年度前期入学試験

春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻  
修士課程 臨床心理学領域

専門分野

I. 逆転移の問題について論ぜよ。特に、逆転移が心理療法過程を阻害する側面と促進する面を明らかにせよ(800字程度)。

II. 以下の用語を説明せよ。

1) 風景構成法

2) 解離性障害

3) WISC

4)  $\alpha$  係数

5) ダウン症

Ⅲ. 以下の項目について、それぞれ 200 字程度で説明せよ。

- 1) 認知行動療法
- 2) フォーカシング
- 3) ミネソタ多面人格目録 (MMPI)
- 4) 内田クレペリン精神検査
- 5) カール・ロジャーズ

Ⅳ. 次の事例を読んで、問題に答えよ。

#### 事例

Aさんは、20歳代前半で、就職して半年を過ぎたばかりの女性である。大学時代はチアリーディング部の部長を務め、後輩からも頼りにされて、いくつかの大会でチームが入賞をしてきた。Aさんによると、最近まで何ら問題が無かったという。

Aさんは持ち前の笑顔と活気そして学業成績から就職活動では複数の企業から内定をもらった。その中で幼少時からの夢であった航空会社のキャビンアテンダントの道を選んだ。Aさんは、就職を機に一人暮らしを始めた。入社後の3カ月の研修を終えて、配属された部署で先輩の指導を受けながら業務に従事していた。

ある日のことAさんは、旅客機が出発する前のブリーフィングというスタッフの打合せにて、打ち合わせている内容がすんなりと頭に入らず、メモで書き記そうとする要点が把握できずに混乱し、不安を強く感じた。その場では、何とか取り繕ったがその日のキャビン内の業務ではミスを連発してしまった。その日を境に、再び失敗を繰り返して周りに迷惑をかけるのではないかと考えると、いてもたってもいられなくなり、睡眠も十分に取れなくなり、食欲の低下が増した。

Aさんは、今後仕事を続けることへの自信を失い、気持ちが落ち込み、上記のエピソードから3週間が経過した頃に勤務先の医療センターを訪れた。そこで、体重を測定したら、50kgあった体重が2kg減少していた。Aさんは職場内の医療センターから外部にある医療機関へ紹介をされてきた。

問1 事例についての理解を深め支援の方針を立てやすくするためにどんな情報があるとよいか、生物・心理・社会 (Bio-Psycho-Social) の視点から 800 字以内 で述べよ。

問2 あなたが本事例について心理学的介入 (心理療法) をするとしたら、どのような理論的立場から、どのように理解し、どのような支援の方針を立てるか、400 字以内 で述べよ。